



# みみよい

## なお知らせ!

みみの記念日 3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日

### ソフト面での改善進むが、ハード面は未だ未だ

(1月末現在)

#### ～聴覚障害者に対する情報保障等の改善状況追跡調査結果～

NO.	施設名	平成 28 年度に実施された事項
1.	吉野ヶ里歴史公園	お知らせランプ付き誘導灯設備、緊急時の電光掲示板→現状設備について今後予算の事情とあわせて検討していく。
2.	佐賀大学美術館	特になし。
3.	佐賀県立博物館・美術館	災害発生等緊急お知らせランプについては、28年度(29年2月)に設置いたします。
4.	佐賀県立九州陶磁文化館	受付に COMUOON を設置した。
5.	佐賀県立名護屋城博物館	COMUOON 1 台の設置。ミニシアターのバーチャル映像において、音声に対応した字幕を付けた。
6.	佐賀県立佐賀城本丸歴史館	耳につけない会話 支援機器コミュニケーション・サポートシステム COMUOON を導入した。
7.	佐賀県立宇宙科学館	エレベーター内緊急モニター及び緊急時電光掲示板等は、改修時に実施(時期は未確定)する。
8.	大隈記念館	既存のパンフレットにルビを振ると字が小さく見づらくなってしまったため、内容を簡潔にし、ルビを振ったパンフレットを作成中。
9.	佐野常民記念館	2階展示室シアター映像に日本語字幕を入れる。
10.	佐賀市浮立の里展示館	市が所管する類似施設及び障がい福祉課と今後も協議を続けていく。
11.	佐賀市徐福長寿館	筆談ボードの設置。聴覚障がい者への避難案内表示板の設置。
12.	東名縄文館	検討中
13.	肥前国庁跡資料館	パンフレットの次回改訂のタイミングで検討していく予定。
14.	嘉瀬川防災施設 さが水ものがたり館	特になし
15.	唐津市文化事業団・唐津城 曳山展示場	検討中
16.	唐津市鯨組主中尾家屋敷	避難誘導灯などの設置については、引き続き検討するが、施設の構造上、職員の避難誘導体制の整備で対応したい。
17.	中富記念くすり博物館	画像への字幕については、更新時の対応で検討したい。
18.	多久市郷土資料館	避難誘導灯(7か所)
19.	多良木市郷土資料館	避難用 誘導灯改修
20.	水車の里遊学館	特になし
21.	桜城館	展示物案内の字を大きく表示する。または照明を調節して解説文を見易くした。
22.	バルーンミュージアム	検討中

#### さらなる改善を要望します。 —聴覚障害者目線で常にチェックを—

平成 27 年 8 月に現地調査を実施し、改善点について要望しました。今回は障害者差別解消法が施行された 28 年度の改善状況を追跡調査しました。全体として、多額の予算を要するものについての改善は進んでいませんが、少額で改善できるもの、ソフトや人力で対応できるものについては序々に改善されつつあります。29 年度は差別解消法施行 2 年目となります。聴覚障害者目線を忘れずにチェックして頂き、情報保障等一層の改善を要望します。

#### 佐賀市議会が iPad 導入へ

佐賀市議会では、聴覚障害者の傍聴者向けに音声字幕に変換する「アイパッド」を活用する方針が議会運営委員会で決められました。方言が上手く転換できるか等無料アプリで試行されることになりました。(1月19日)



中村理事長に  
佐賀県知事に  
表彰  
佐賀県社会福祉功労者の表彰  
があり、永年の佐賀県聴覚障害者協会の役員として社会福祉の向上への寄与に対して授  
与された  
(2月1日)



1月21日(土)午前はろう者向けの「日本語の魅力を学ぼう」、午後からは「ろう者が必要とする通訳者像」について指導されました。助詞の使い方、日本語がもつニュアンスが変わるなど日本語力の大切さを、ろう者のみでなく手話学習者・通訳者も痛感させられる学びの場となりました。話し手(ろう者)の言葉の意図を含み、最適な日本語を選択することの大切さや難しさを改めて実感する学習会でした。2月2日付朝日新聞に「音のない世界に生きて」のインタビューが掲載されています。

早瀬憲太郎さんを招き  
「早瀬道場イン佐賀」を開催

## 補聴器シリーズ⑩

現在センターの協力販売店として聴こえの相談のお手伝いをさせて頂いております。弊社は九州全域で営業活動をしています。私は補聴器に携わって20年近く経ちます。

この聴覚障害者サポートセンターのように、最新の測定室や測定機器を備え、2名の言語聴覚士が在籍し無料で聴こえの不安や補聴器の相談を親身になってやっている施設は九州他県にはありません。さらに納得いくまで補聴器の聴き比べや貸出を協力店4社で行う取り組みは本当に素晴らしいことです。

先日も弊社最新の補聴援助システムロッジャーをご試聴頂いた難聴者の方に感嘆の声を頂き、気軽に相談できる環境整備が重要だと痛切に感じました。

これからもセンターを通して難聴者のお役に立てるよう協力していきたいと強く思っております。

メガネのヨネザワ 佐賀本店  
認定補聴器技能者 緒方一史



## 佐賀県立ろう学校 聴覚障害の理解研修

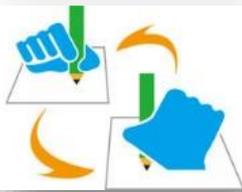
教職員50名と特別支援学級の担当教諭9名が参加。センターの言語聴覚士が講師となって、自身の聴こえにくさを具体的に伝え周囲に発信できることや、卒業後、自身で補聴器を管理するようになってからも、生活環境の中で上手に使っていけるように補聴器の調整の大切さを伝えました。(1月13日)

## 「手話マーク」「筆談マーク」策定

手話で対応します  
手話でコミュニケーションできる人がいます



筆談で対応します



全日本ろうあ連盟

※マークはろうあ連盟のホームページからダウンロードできる。無料。

## 手話語り「李参平ものがたり」DVDの感想

陶磁器の産地である有田町、伊万里市、武雄市、唐津市、玄海町の各小中学校へDVDの活用状況についてアンケートしました。「有田焼に関する基本的な内容で生徒の郷土理解を深めるよい教材だと思った」「手話・字幕・イラスト、全てを見ることは難しかった。音声があればよかった」等の意見・感想がありました。(1月)

## 佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12 (佐賀商工ビル4階)  
TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705  
メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp  
ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/

## <シリーズ要約筆記⑨>

学生が受験シーズンを迎えるこの時期、私たちも年に一度の全国統一要約筆記認定試験を迎えます。試験を受けることが久しぶり世代の人にとって、試験への臨み方や受け止め方はさまざまようです。とりあえず雰囲気慣れるためチャレンジしようと申し込んだが、せっかく勉強したから合格したいとなり、けれど難しいと落ち込んだり。今は、早く試験日を迎え、終わってしまいたいと感じているのでしょうか。

## アフターファイブ手話講座 レベルアップ講座

1月25日～2月22日・毎週水曜日開催  
アフターファイブ手話講座修了者を対象に今回初の開催。県職員や特別支援学校の先生が参加。

## 佐賀空港 UD研修 (1月26日)

今回は佐賀空港の関係者が肢体不自由と聴覚、視覚障害当事者から困っていることなどを直接聞く研修をされた。当事者からは視覚障害者の誘導方法、肢体不自由者の車イス介助、聴覚障害者へのコミュニケーションと情報保障が必要なことを空港関係者に訴え、理解を求めた。

## 芦刈観欄校 新聞作成

小中一貫校7年生(中学1年生)

10月21日に実施した福祉体験活動「手話体験」の学習後、総合学習の時間に生徒各々の感想や調べたことをまとめました。

## 災害時用 ビブス備付

ビブス(ベスト)を、ろう者・難聴者・手話通訳・要約筆記が着用できるよう全部で100着備付しました。



## 99久高校で手話奉仕員カリキュラム修了

厚生労働省カリキュラムによる手話奉仕員の講座を福祉系列の16名が修了しました。

## 2016バルーン3部構成のDVDが できました。

バルーン用語と手話表現・佐賀バルーンミュージアムの紹介映像・熱気球世界選手権 (29分)

## ■巡回きこえの相談 in 小城市役所内会議室

※予約制 2月22日(水) 10時～15時  
要予約制で聴力測定・難聴者のピアカウンセリングを行います。聴こえに不安がある方が対象です。

## ■おしゃべり広場 (難聴者)

2月24日(金) 13時半～15時半 当センター

## ■ろう者巡回相談

2月14日(火) 唐津りんく 15時～20時

## <開館時間>

9:30～18:00

9:30～20:00(水曜)

## <閉館日>

毎週月曜日、祝日